

# こども通信

新年度に入り、ピカピカの新学期や一年生の誕生ですね。入園や入学、おめでとつございませう。

子ども達は、これまでの生活から一変します。子どもなりに大変な思いをしていることでしょう。外で頑張っている子ども達を、家庭では暖かく見守ってあげて下さい。

新しい場所へ行ったり、見知らぬ人との出会いは、とても緊張します。私も子どものころ、隣のクラスには「怖くて」入ることができませんでした(今でもそうです)。そんな私を父母は何

をするではなく、そっとしておいてくれました。今から思うと、それで癒やされていたのでしよう。



また大人の目からは、子どもがまどろっこしかったり、どうして?と思うこともありますが、そこは人生の先輩。大きな愛で包み込んでほしいです。

家庭は楽しいところ。あまり小さな事に目くじらをたてず、一日の緊張から解き放たれ、ゆったりとした気分でいられるといいですね。

子育てには「ほめる」ことが大切。でも、ただ言葉を並べ立てればいいのではなく、根本はその子を「認める」こと。自分の存在が肯定

され、家族の中で大切にされているという実感を持つことが、子どもの心を大きく育てます。お子さんに声をかけるとき、そ

**塚田こども医院**  
 上越市栄町 2-2-25  
 TEL(0255)44-7777  
 FAX(0255)44-8456  
 時間外090-3333-4388  
 E-mail tsukada@kodomoiin.com  
 ホームページ http://www.kodomoiin.com/

**事故予防のヒント**  
 自動車に乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルド・シートを着用して下さい。生まれてからすぐに習慣づけを。法律上の義務でもあります。

んなことも気を付けて下さい。  
 \* \* \*  
 子育て支援の一  
 つとして、当院で  
 病児保育室を開設

するよう検討してます。6月には始められるように準備を始めました。現在、それを担当していただく保育士さん(保育士)を募集中です(2名、4月15日面接)。  
 \* \* \*

今月のポリオ予防接種(任意)は28日(土)です。

F M J (エフエム上越)で、子どもの健康・病気などについて毎週お話をすることになりました。よろしかったらお聞きになって下さい。(「今月の予定」参照)

この「通信」を「ご家庭で」覧になりたい方には、F A Xでお送りします(無料、毎月可也)。「ご希望の方は医院までご連絡下さい。

## 今月の予定

上越市の予防接種(麻疹、風疹、三混、日脳)  
 火、金 午後1:30~2:30  
 月、火、木、金 午後4:30~5:00  
 乳幼児健診、任意の予防接種  
 毎週木曜 午後1:30~2:30  
 院長出務  
 上越市休日診療所 21日  
 上越市乳幼児健診 11、18、25日  
 有線放送「健康ライフ」21日朝6時-「新入園児の健康管理」  
 F M - J 「Dr.ジローのこども健康相談」  
 月曜午前9:15頃~(76.1MHz)  
 第1週=子育てアドバイス、第2週=子どもの病気、第3週=予防接種、第4週=事故予防、第5週=Q & A特集

## 感染症情報

先月(3月)は、前半にインフルエンザの中規模の流行がありました。例年と違い、ずいぶん遅いスタートで、規模も小さく、下旬にはほぼ終息しました。これは全国的な傾向でした。

水ぼうそう(水痘)が前半に多かったのですが、こちらも次第に少なくなってきました。おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)の発生は下旬にまたばかりかえし、新年度に持ち越しそうです。

嘔吐下痢症(ウイルス性胃腸炎)は同じペースで発生していましたが、溶連菌感染症もなかなか少なくなりませんでした。はしか(麻疹)の発生はありませんでした。

感染症ではありませんが、スギによる花粉症が3月下旬に「猛威」をふるいました。当地では例年4月末まで花粉の飛散がありますので、引き続きご注意下さい。

当院から[感染症情報]を毎週お伝えしています。(0255)44-7722(無料)

F M - J(エフエム上越76.1MHz)=金曜13:30~ 上越有線放送=月曜18時~ i-Mode携帯・パソコンに毎週送信しています。ご希望の方はご連絡を。

# 入園後の生活・

## ぜひワクチンを

子どもの病気の代表は、ウイルスや細菌によってひきおこされる感染症。

その大部分は、人から人につつていく伝染病です。

子ども達が保育園、幼稚園に入ると、実にいろんな感染症をもらってきます。鼻水、咳、熱といった普通の風邪症状が、たえまなしに続くことになります。

入園までの家庭や地域の中での生活

### 乳幼児医療費、大きな格差！？

先月号に既報のとおり、今年9月から新潟県の乳幼児医療費助成制度が拡大します。外来では0歳児だけだったものが2歳児まで対象になります（入院は2歳児までが3歳児までに。いずれも1歳児以上は親の所得制限あり）。

しかし、他の都道府県でも拡充の動きが盛んです。外来については、6歳未満または就学前の子どもたちが全て対象になっているのは、これまでは秋田だけでしたが、今年度中に、山形、福島、東京、兵庫、香川が実施に踏み切ります。新潟の歩みが遅いうちに、他はもっと先を行っている感があります。

県内でも市町村ごとに制度の「上乘せ」をし、子育て支援に取り組んでいます。近くでは、今月から板倉町が外来・入院とも就学前までを対象に、所得制限なしで実施します。新井市は9月を今月に前倒して実施します。

上越市では、入院はすでに就学前まで所得制限なしで行っていますが、外来については、年齢の上乗せはしないとのこと（ただし所得制限はなし）。

また、窓口負担の額も、全国的には無料のところが多く、本県の制度も近い将来見直す必要があるといえます。これについても、新井市では0歳児についてはこれまでも負担をゼロにしていました。

このように、制度が進展するに従い、ますますその格差は広がっています。どこに住むかで子育ての経済的な負担がずいぶん違うわけで、大いに考えさせられる問題です。（いずれ、「子育てをするのは がいい」というランキングがされるかも・・・）

は範囲が限られていて、それほど

風邪などをひくことはありませ

ん。周りの大人も、いろいろと気

を付けています。しかし、そんな

子も入園と同時に、次々と感染症

の「洗礼」を受けることになりま

す。（半年ほどは、しょっちゅう休むの

を覚悟して下さいとお話しています。）

風邪を予防するのは、なかなか

難しいです。手洗い、うがいなどを願

いしていますが、とてもそれだけは十分

ではありません。注意していても、やは

りかかってしまいます。

しかし、いくつかの感染症は確実に防



ぐ手段がありま

す。それが予防

接種です。市町

村で行っている

予防接種のう

ち、とくに麻疹

（はしか）は必

ず必要です。1

歳すぎに受けて

いるはずですが、もう一度母子手帳で

確認して下さい。（日本では次第にルーズに

なっけていますが、アメリカでは必要な予防

接種を受けていないと入学できないほど厳しく

対処しています。）

よって、早めの

対処ができま

す。当院から地

域での流行状況

を、いくつかの

チャンネルを

使ってお知らせ

しています。ま

た園での様子

は、園からのお

知らせや、お母

さん方の会話が

ら知ることがで

き、とても参考

になります。

このほかでは、水痘（水ぼうそ

う）、流行性耳下腺炎（おたふく

かせ）もワクチンがあり、受けて

おくことでかからないか、かかっ

ても大変に軽くすませることがで

きます。これらは希望者だけが受

ける任意接種で、費用もかかりま

すが、とくに共働きなどでお子さ

んにあまり休んでほしくないよう

でしたら、強くおすすめします。

また、園や地域でどんな感染症

が流行しているかという情報を

知っておくことは大切。それに

### 「ゆめいろ人形」作品展

いつも待合室を明るく飾っていただいている小野裕子先生の作品展が、ぬくもく（市内本町5、24-3299）で開かれます（今月13日～30日）。すてきなお人形に出会えます。どうぞご覧になって下さい。

ホームページ（HP）コンテスト優秀賞！

（財）日本電信電話ユーザー協会主催の「ホームページコンテスト」（新潟県）において、当院のHPが「企業の部・優秀賞」をいただきました。受賞理由には、「薬剤に関する詳細な情報、地域医療との連携、癒しの部分まで幅広く情報提供されている点に見識の幅広さを感じます。また更新が毎日行われておりインターネットの特質をよく理解して運営が行われている点を評価いたします。」と

あります。HPの開設から1年半ほど続けてきたことを、このような形で評価していただき、大変光栄です。

ちなみに副賞はテレビ付き電話を2台！・・・でも、まだ使い道が決まりません。加茂市の小児科医＝五十嵐先生は嘱託医をしている保育園に1台おいてあり、園児の様子を見るために役立てているそうです。さて、私は何に使おうか・・・さすが新し物が好きな私ですが、まだアイデアが浮かばず、困っています。